

Sound Horizon の楽曲と解釈の繋がりを表現可能な電子掲示板システム

橋本 昌枝

音楽グループである Sound Horizon の楽曲では様々な物語が表現されており、その楽曲には台詞や効果音、他の楽曲との関連などの物語を考えるための多様な情報が織り込まれている。この物語には正解となる解釈が存在していないため、楽曲の解釈を考えることが楽曲を楽しむ上で非常に大きな要素になっており、この解釈の共有や議論が電子掲示板や Twitter といった Web 上のサービスで活発に行われている。

Sound Horizon の楽曲の解釈を考える上では「楽曲同士の繋がり」と「楽曲と解釈の繋がり」を把握することが重要である。また、Web 上のサービスでの議論の流れを追うためには「解釈同士の繋がり」も把握する必要がある。しかしながら、現在使用されているサービスではこれらの繋がりには文章でしか表現することが出来ないため、解釈全体の閲覧や把握がしづらいという問題が存在している。

これらを踏まえ本研究では Sound Horizon の楽曲の解釈の閲覧をより分かりやすく楽しめるようにすることを目的とし、上記の 3 つの繋がりを視覚的に提示する電子掲示板システム「Mapping of Horizon」を開発した。本システムでは「楽曲同士の繋がり」を楽曲の関連図の表示で、「楽曲と解釈の繋がり」を楽曲の再生に連動させた解釈の表示で、「解釈同士の繋がり」を関連付けられた解釈の階層的な表示と入力された関連名で提示する。

本システムの有効性を検証するため、評価実験を行った。実験は Sound Horizon の楽曲の解釈を閲覧したことがある人を対象とし、既存の掲示板である「クロニカ学習帳」を比較対象として行った。実験参加者は楽曲の解釈に対する知識量に偏りが無いように、本システムを使用するグループと既存の掲示板を使用するグループの 2 つに分けた。実験参加者には指定したシステムで Sound Horizon の楽曲である「見えざる腕」の解釈を閲覧してもらい、実験参加者にとって新しい発見となる解釈を探してもらった。この作業終了後に発見した解釈及びシステムに関するアンケートを行った。

実験の結果、新しい解釈の発見数ではグループの間に差は見られなかった。しかし、システムの好感度の項目において本システムが優れているという結果が得られ、自由記述では繋がりを示す機能全体について「楽しい」「面白い」という回答が見られた。このことにより 3 つの繋がりを示すことで閲覧の楽しみを支援できることが示された。また、3 つの繋がりの把握しやすさの項目についても本システムが優れているという結果が得られ、自由記述でも特に楽曲と解釈の繋がりを示す機能について「わかりやすい」という記述が多く見られた。このことから楽曲と解釈の繋がりを提示することで楽曲の特定の部分に対する解釈の把握を支援できることが示された。

以上の結果から、Sound Horizon の楽曲の解釈を閲覧する際に重要となる繋がりを提示させることで解釈の閲覧の楽しみと内容の把握を支援することができたと考えられる。今後の課題としては、ユーザビリティを考えたシステムの改善、長期的な評価実験の実施が挙げられる。

(指導教員 松村 敦)